

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が非常に多く、夏物の商品の出足も非常に良く、街全体に活気がある。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・4月に入ってからは天候にも恵まれ、人の動きが良い。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・既存店の売上高は、昨年の3か月前と比べると、102.7%が104.6%と1.9ポイント改善した。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・今月はシングル需要があり、液晶テレビが大幅に伸びている。また、売上に占める割合は低いものの、電子辞書、デジタルオーディオも好調である。
		観光名所（経営者）	来客数の動き	・来客数は約5%程度減っているが、売上は5～10%増加している。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・予約の状況は、土日埋まりが早く前年と比べて非常に良い。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来店客数が新規客を含めて増加した。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントへの来場者数が昨年と比べ増加した。	
	変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・商品点数は伸びているが単価が減少したため、売上は増加しない。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・以前は入学式などがあると早くから洋服を買う客が多かったが、現状は、必要に迫られる直前まで買わないというシビアな消費傾向がある。また、持ち合わせの服にコサージュをつけて式らしい雰囲気を出している人が多く、節約している様子が見える。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・催事については来客数及び売上高は前年並みに推移し、ブランド商品群は前年より若干増加したが、ファッション関連・ギフト関連が前年割れとなり、全体では、前年同月と比較し、来客数、売上高共に下回った。
		スーパー（店長）	単価の動き	・飲料などの新製品については良く売れているが、必要な物しか買わない傾向は続いている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は増えているが、客単価は急激に減少している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・食品は惣菜が前年並みを確保しているものの、衣料品、鮮魚、加工食品の動きが悪く、総売上高は昨年比で2%、客数は約3%減少している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・販売量や客単価が上昇してこないことに加えて、母の日の贈物といったギフト関係の売上が例年と比較して少なく、景気の悪い状態が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・パンツについては、単価の高い商品が売れたが、レディースのトップスは、単価、数量ともに、20%程度落込み、全体的には昨年と変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・例年なら新卒需要がある程度期待されたが、客の様子は通常の月と変わらない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・会社としての会合、会食でなく、個人や家族単位での食事が主流になっている。
		都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・利用客や販売数が増えても、単価が下げ止まらず、全体では横ばい状態が続いている。
旅行代理店（従業員）		来客数の動き	・中国が反日デモの影響でキャンセルが発生するなど振るわなかったが、国内では愛知万博、近場の温泉、沖縄、東京方面、海外ではハワイ、ヨーロッパ、台湾、韓国などの需要が多く、好調が続いている。	
やや悪く なっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	単価の動き	・来客数にあまり変化はないが、客単価が低下している。	
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ガソリンの価格が上昇し、乗用車の購入も慎重になっている。	
	観光型旅館（経営者）	競争相手の様子	・地域全体、同業の様子を見ると、値下げ競争が続いており、厳しい状況である。	

		その他住宅〔不動産〕（経営者）	お客様の様子	・賃貸住宅の退去者は非常に多かったが、新築の賃貸アパートが沢山できたことに加え、住宅やマンションを買った人が多かったため、入居者が少なく、空き家が増えた。
	悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・寒暖の差が大きく、春物の動きが悪い。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・客の買換え需要や新規購入が増えてこない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べて、接待などの人数が少なくなっている。また、客単価も下落し、長距離を乗る人が少なくなっている。
企業動向関連	良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品が好調に推移しており、3か月前と比較し、売上が増加している。
		通信業（支店長）	受注量や販売量の動き	・販売価格が若干値上がりしているにもかかわらず、販売は好調である。
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電子機械の仕事は少なくなっているが、メディア、DVD関係の生産ラインはフル操業で忙しい。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・荷動きが活発になり、運行車が足りない状態になっている。
		輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・これまでは、平均的に出荷されていたのが月末集中型になったものの、全体では少し動きは良くなっている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・タオル業界の主力販売先である百貨店、ギフト専門店などのギフト商品の売行きが非常に悪い状態が続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設用油圧クレーンの稼働率は全国的に高稼働を維持している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原油高が販売価格に転嫁できず、厳しい状況が続いている。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月は契約更新の時期であるが、費用対効果をよりシビアに判断し、新聞、電波、雑誌の各マス媒体を減らし、チラシ折込広告やダイレクトメールにシフトするクライアントが増えている。
		公認会計士	取引先の様子	・クライアントの決算内容を見ると、前年比でまだマイナスの企業が過半数を占めている。また、実際に経営者と話をしても、景気が良くなっていると判断している人はほとんどいない。
やや悪くなっている	化学工業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・今年に入り、受注量、販売量は減少傾向が続いていたが、4月に入っても回復の兆しはなく、1～3月より大きな落ち込みとなっている。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・手持ち工事が前年同期比で2割程度少なくなっている。	
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数はあるものの、経験者を必要とするケースが多く、非常に対応が困難である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、警備員、販売員で大口求人があったものの、製造業、飲食店、宿泊業、医療・福祉業で欠員補充が少ないため、全体では減少した。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人の中でパートや臨時の求人が占める割合に変化がみられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・採用者数の動きが、ほぼ停滞のまま推移している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（従業員）	雇用形態の様子	・派遣社員の代わりに、契約期限の限られた契約社員での採用が増加しており、より人件費抑制傾向がうかがえる。
悪くなっている	-	-	-	-